

平和・人権
社会・宗教
政治と暮らし
分かれ合い

No.43

共に生きる

編集／〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 /瀬下幸弘 FAX093-622-1290

さつき
月
5
2014



監禁室跡の前で

- ・ 飛べなくされて放たれる
 - ・ 囲われて
 - ・ 假名が消えて行く煙
 - ・ 大空へ
 - ・ もういいかい
 - ・ 骨になつてもまだだよ
- (2ページへ)



金山川の桜並木（安永さん提供）

5月のお知らせ

- ◆ 5月3日(土)北九州9条まつり(勝山公園)…10時30分
北九州憲法集会(ムーブ2階) …13時
- ◆ 5月11日(日)英語ミサと交流(黒崎)
福岡教区信徒協(大名町) …15時
- ◆ 5月12日(月)社会福音部会(アドラック) …19時
- ◆ 5月18日(日)北九州信徒協(小倉) …14時
- ◆ 5月24日(土)キリスト者9条(西南KCC) …14時
- ◆ 5月25日(日)虹の会(黒崎教会-分かれ合い) …ミサ後
- ◆ 5月31日(土)北九州関門ACO総会(場所未定) …13時
- ◆ 6月1日(日)正義と平和全国大会実行委員会(大名町)…14時30分
- ◆ 6月7日(土)下関アムネスティ(下関市民活動センター)…14時

隔離の100年



北岡秀郎さん

「社会のありようを学ぶことなのです。」

「国立療養所」と聞くと、普通は「病気の人がベッドで横たわり、ゆっくり静養するところ」とイメージしがちです。ところが「国立ハンセン病療養所」は患者が労働する、言い換えれば「犯罪者の収容所」のようなところでした。熊本県にある菊池恵楓園も例外ではありません。北岡さんは、判決が触れなかつた被害について、2つ点を述べられました。1、現在も社会の中で被害をうけていること、2、人を作りかえられる被害だったことです。らい予防法が廃止された後、国の隔離政策が憲法違反であり人権侵害が認められた裁判で勝訴したにも関わらず、入所者にとつてはいまだに納得のいかないことだけです。入所者の川柳はその胸中を鋭く表現しています。

2002年から毎年ハンセン病国立療養所菊池恵楓園を訪問し、「人権とは何か」を学び続けて13年目となりました。参加者21名で、カトリック信徒と市民グループの合同訪問です。ハンセン病国賠訴訟支援する会熊本事務局長の北岡秀郎さんが、特別企画の話をされました。「ハンセン病問題の歴史を学ぶことは現代社会のありようを学ぶことなのです。」

ハンセン病問題の歴史はある 現代社会への警告である

4月29日

菊池恵楓園
で学ぶ

ときのことば

現代国家資本主義の基本原理はコストとリスクを可能な限り社会化するが、その一方で利益は私物化される。

ノーム・チョムスキー（4月号木村公一講演より）

援助修道会 修道院より

5月11日：イチイチ祈りの会

場所は修道院聖堂、午後1時30分から。
どなたでもお出でください。



(1面続き) 恵楓園に入所させられると「偽名」で生きねばなりませんでした。戦前には、子どもにも「死後の解剖願」に署名させたり、園内秩序をみだす者(職員に意見を述べたりする人も含めて)懲罰として監禁室に入れられたりしました。療養し栄養を取らねばならない患者に食事を減らしたり、ストレスを与えることを聞き、参加者は驚いていました。最もひどい懲罰として群馬県草津にある栗生樂生園(くりゅうらくせんえん)の重監房に送られたのです。極寒の中で薄い布団1組だけです。結果は亡くなるか病状が重くなるかどちらかです。(今回の訪問翌日の4月30日に、この「重監房資料館」がオープンしました。)

園内で亡くなると、所属した宗教で葬儀をし、患者たちの手で火葬していたそうです。「大空へ偽名が消えて行く煙」亡くなつてからやっと本名にもどれる…悲しい歌です。



やすらぎ総合会館
キリスト教を除く各宗派の祭壇がずらりと並んでいます。

本名が分からないと骨壺は「無名」の棚に置かれます。(現在は“不祥”と書かれています。)その骨壺は家族にさえ引き取られないままです。「もういいかい 骨になつてもまあだだよ」ハンセン病に対する差別の激しさをうたっています。(その差別は国が意図的に作り出したものであることを、しっかりと学びました。) 視力が弱くなり入

院していた阿部智子さん(入所者)が、語り部として病院から来てくださいました。国策によって人生を丸ごと奪われた彼女は、いま恵楓園で生き続けています。故郷を追われ、家族を失った自分たちに「病気が治つたのなら家に帰ればいい」と心無い言葉が投げ付けられます。どこへ行けというのでしょうか…と。「囮わざで飛べなくされて放たれる」—現地に行って学ぶことは“体感すること”“共感すること”です。ひとりひとりの人権尊重こそが、平和な社会への礎となれる…感動の一日でした。

4/6(日)

共に歩こう会 50人参加

景品のご提供有難うございました。

ビンゴが始まる
ねらいを定めて…



「来年も歩こう会したいですか?」「ハイ!子どもたちが全員手をあげました。」



5km歩いたあとは、お弁当が待っていました。

※編集の都合上、講演内容の要点を掲載しています。

文責／編集部

日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(6)

前号のポイント

日本政府と韓国政府はなぜこの問題に対して相違があるのか。韓国には憲法裁判所があり、韓国政府はそれに従おうとする。かたや日本政府は、証拠があつても認めない。そこに天皇制問題が関わっているから。

〈日本政府と韓国政府の相違その2〉

韓国で憲法裁判所の判決が出て後、2011年京都での日韓首脳会議では会談の4分の3が「慰安婦問題」でした。時の野田首相は日本大使館前に慰安婦像を建てるのはけしからん、除去するようにと言いましたが、韓国大統領は「日本がこの問題をきちんと解決しないならば第2第3の慰安婦像がつくられる」と言いました。保守的な大統領です。韓国政府は憲法裁判所の判決がありそれに取り組まねばなりません。

〈他国での取り組みは〉

ところがフィリピン、インドネシア、マレー

シア、特にイスラム圏国家の被害者たちは、日本と闘う前に自国政府と闘わなければいけないです。(その政府は)日本からの圧力がかかって、支援やODAがなくなると困ることになるので被害者たちを犠牲にするくらいは平気です。名乗り出ている女性たちは大抵、底辺の人達ですから。つい最近ジュネーブで国連人権委員会があり、アムネスティインターナショナルと韓国挺身体対策協議会とでシンポジウムをしました。いろんな国を招待したのですが日本政府は来ませんでした。フィリピン、インドネシアなど日本の被害国も招待したのですが、参加できないのです。フランスも来ていません。日本政府は、この問題は国民基金などつくり解決した、小泉首相の手書き謝罪文などコピーし世界中に配っているからもう済んでいる、としています。安倍首相が原発協定でフランス大統領と握手していますね。そういう形ですから、貧しい女性たちの性の問題などではなかなか動きません。ところが…

(次号へ)

紹介

正義と平和全国集会・福岡大会まであと4ヶ月

2014年9月13日～15日 カテドラル大名町教会

日本カトリック 第38回 正義と平和全国集会 2014 福岡大会



いのちを大切にする社会をめざして
—見て、聞いて、知って、働く—



2014年9月13日(土)・14日(日)・15日(祝)

会場—— カテドラル大名町教会 福岡市中央区大名2-2-2
主催：カトリック福岡教区 共催：日本カトリック正義と平和全国集会
実行委員会：第38回正義と平和全国集会実行委員会

冊子には3日間の大会内容が詳しく載っています。各所に配布していますが、まだ読まれていない方、また友人・知人に紹介したいなど冊子をご希望の方はFAXでお知らせください。

大会申込受付事務局（瀬下）
FAX (093) 622-1290

大会案内チラシと 冊子ができました

■ ■ ■
いメ F申締
い A込切
ルXみ
で・書
お郵
申し
込会
み下
さ用
■ ■ ■
大会参
加費
(学
生無
料)
↓千
円／人
■ ■ ■
い
ル
で
お
申
込
込
会
み
下
さ用

日本カトリック 第38回 正義と平和全国集会 2014 福岡大会



いのちを大切にする社会をめざして
—見て、聞いて、知って、働く—



2014年9月13日(土)・14日(日)・15日(祝)

会場—— カテドラル大名町教会 福岡市中央区大名2-2-2

いのちを大切にする社会をめざして

—見て、聞いて、知って、働く—

主催：カトリック福岡教区 共催：日本カトリック正義と平和全国集会

実行委員会：第38回正義と平和全国集会実行委員会



宮田 俊也

会長



高橋 一郎

副会長



西川 伸也

副会長



大庭 勝也

副会長



中野 伸也

副会長



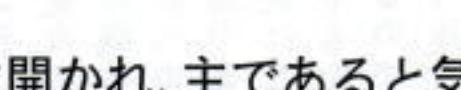
佐藤 伸也

副会長



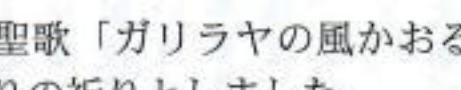
山本 伸也

副会長



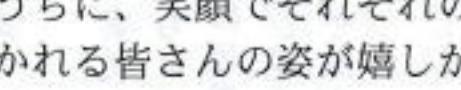
小林 伸也

副会長



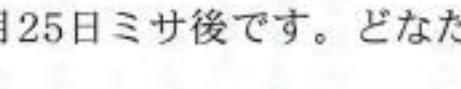
鈴木 伸也

副会長



大庭 伸也

副会長



佐藤 伸也

副会長



中野 伸也

副会長

「チラシ裏面」にはメイン講演者写真と
3日間の大会スケジュールがわかります。
やすく書かれています。

虹の会

4月27日（神のいつくしみの主日）
21名参加

分かち合のひととき

次回5月25日ミサ後。
どなたでもご参加ください。

—イエスがパンを裂かれたとき、弟子たちの目は開かれ、主であると気づいた—

ルカ福音書24章13-35節「エマオの弟子たち」の箇所をもとに分かち合いました。

参加者のお二人による「クレド」（弱い者の信仰宣言）ギター演奏と歌を始めの祈りとし、それぞれが、生活の中で共にいてくださるキリストに出会ったという信仰体験を分かち合い、和やかな中、豊かな時間を過ごすことができました。

そして、聖歌「ガリラヤの風かおる丘で」を歌って終わりの祈りとしました。

喜びのうちに、笑顔でそれぞれの場所に派遣されて行かれる皆さん姿が嬉しかったです。神に感謝

次回5月25日ミサ後です。どなたでもご参加ください。

「原発問題」から見えてきたこと：倫理的・思想的視点から 私たちは何処から来て、何処へ向かっているのか？

1. 米国のプライス・アンダーソン法(1957年)

日本の原発はイギリスとアメリカから原子炉を輸入して、原子力開発に着手し、国産化という方針を採ります。その手始めが1955年アメリカと研究炉を輸入するための「研究協定」です。三年後1958年、この時の読売新聞の社主の正力松太郎が尽力して、イギリスと原子力協定を結び、発電用の原子炉(東海第1原発)をイギリスから輸入します。この協定が問題なのです。この時すでに、事故時の賠償は免責すると決められていたのです。この問題は、1955年アメリカと協定を結ぶときに、日本の法律学者や弁護士などの間で広く議論されました。日本は大変なリスクを負って原発を輸入するのに、事故が起きててもアメリカの政府と原発メーカーは免責となるというような貿易協定は、黒舟の時代ではあるまいし、余りにも差別的な貿易条件でした。けれども日本は「アメリカ国内の法律でそう決まっているのだから、認めなければ輸出はできない」とワシントンに言われて、認めてしまったのです。

その後アメリカでは1957年に有名な「プライス・アンダーソン法」が制定されます。これは、事故が起きたときの原子力災害に対してメーカーの賠償制限を定めた法律です。なぜ、こんな法律ができたかというと、今までこそ原発メーカーは儲かっているのですが、当時のアメリカの原発企業は原発はコストとリスクがあまりにも大きくてビジネスにならないという認識が一般的であったのです。それに、民間のメーカーにしてみれば、事故が起きた時には賠償させられるわけですから、原発は民間メーカーに嫌われていたのです。原発の方が火力発電所よりもコスト的に有利だと数字で示されるのは1963年のことです。

木村公一牧師の小倉講演（1）



このようは歴史を背景にして、そこでアメリカの民間メーカーに原子炉を作らせるために、また、電力事業者に原子力発電をやらせるために、1957年にプライス・アンダーソン法が制定されたのです。この法律によって、「何が起きても民間はここまでしか賠償しなくてよろしい。」と定めたのです。

1958年にイギリスから商業用(発電用)の原子炉を輸入したときも日本はイギリスとの間で協定を結びましたが、当初の商談の中でイギリスは「事故が起きててもイギリスとイギリスのメーカーは責任をとらない」という免責条項を協定に入れるよう日本側に迫りました。ところが1957年に、イギリスのウインズケールの原子炉で火災事故が起こり、西ヨーロッパ全体を放射能汚染するという、切尔ノブイリよりもかなり前の最初の巨大原子炉事故が起きていたのです。そんなことを目の当たりにして、「免責事項はないだろう」というやりとりがあったのですが、結局、日本は将来的にはアメリカから輸入するということが決まっていました。さらに、そのアメリカでは、プライス・アンダーソン法ができており、協定の中に免責事項が入っていました。これを受け入れなかったら、どこからも原子力輸入はできないということで、日本は認めてしました。日本は原発を輸入するにあたって、外国企業や外国政府に対して賠償責任を問えないわけです。そうであるなら、日本で原子力事故が起きた時、誰が責任を持つのかを定める原子力損害賠償法(1961年)が制定されました。(ちなみに、この法律は現在のアメリカ議会で廃案が検討されています。→ これは脱原発を促す動きとして見ることができます。) 続く

6p 平良牧師講演 沖縄辺戸岬の“祖国復帰闘争碑”の全文

全国のそして全世界の友人へ贈る。
吹き渡る風の音に耳を傾けよ。権力に抗し
復帰をなし遂げた大衆の乾杯の声だ。打ち寄
せる波濤の響きを聞け。戦争を拒み平和と人
間解放を闘う大衆の雄叫びだ。

”鉄の暴風”やみ平和のおとずれを信じた
沖縄県民は、米軍占領に引き続き、一九五二
年四月二八日サンフランシスコ「平和」条約
第三条により、屈辱的な米国支配の鉄鎖に繋
がれた。米国の支配は傲慢で県民の自由と人
権を蹂躪した。祖国日本は海の彼方に遠く、
沖縄県民の声は空しく消えた。われわれの聞
いは蠍蠍の斧に擬された。

しかし独立と平和を闇う世界の人々との連
帯であることを信じ、全国民に呼びかけ、全
世界の人々に訴えた。

見よ、平和にたたずまう宜名真の里から、
二七度線を断つ小舟は船出し、舷々相寄り勝
利を誓う大海に大会に発展したのだ。今踏ま
えている土こそ、辺土区民の真心によつて成
る沖天の大焚火の大地なのだ。一九七二年五
月一五日、沖縄の祖国復帰は実現した。しか
し県民の平和への願いは叶えられず、日本國
家権力の恣意のまま軍事強化に逆用された。
しかるが故にこの碑は、喜びを表明するた
めにあるのでもなく、ましてや勝利を記念す
るためにあるのでもない。

聞きをふり返り、大衆が信じ合い、自らの
力を確かめ合い、決意を新たにし合うためにこ
そあり、人類が永遠に生存し、生きとし生け
るもののが自然の攝理の下に生きながらえ得る
ために警鐘を鳴らさんとしてある。

靖国神社 豆知識その5 (Y)

「招魂斎庭」(しょうこんさいてい)と読む。簡単にいうと「死者たちの魂を招き入れるための庭」で、そこを通って“神靈”は本殿へ。いわば神聖な庭であるが、なぜか駐車場と化している。



奥の方にその名残なのか、目立たない鳥居がある。資料館内に招魂式の説明もあるが、今回は以下を紹介したい。

青木貞伸著『ブラウン管の思想』

1976年12月 世界思想社 靖國神社招魂式実況中継

…ところが、である。戦後、この実況中継を担当した、NHKのかつての名アナから、「あの中継には弱りました。なにしろ真暗闇でしょう。両側の参道に並んだ遺族の中から『人殺し』『わが子を返せ』という悲痛な叫び声が起きるんですよ。憲兵も遺族ということで手をほどこすすべがない。しかし、こちらは、その声がマイクに入ったら大変ですからね、苦労しましたよ」という述懐を聞いて「ウーン」と思った。



小枝に卵が… (写真は下関読者／山)

「写真は10年前のものですが、復活祭(イースター)になると作っていました。イースターエッグツリーと言います。たまごの上下に小さな穴を開けて、上から息を吹き掛けて中身を出し、上下の穴を紙でふさぎ、糸を付けてから…」作り方を教えてくれました。ぜひエッグツリーに挑戦してみてください。



日本漫画家協会
日本漫画家会議 にしやま すずむ 西山 遼 さんの漫画



春の陽気に誘われて (写真提供AY)

八幡西区の三菱マテリアル(旧三菱セメント)そばのため池で、亀が仲良く甲羅干し。“動かないで…”はいつ、バッヂリ撮れました。



憲法集会の講師は上智大教授(菜)

5月3日(土) ムーブ2F 13時～

戦争する国はイヤっちゃ！



写真は実行委員会チラシより

講師は田島泰彦さん。

上智大学教授で、特定秘密保護法案の審議では参考人として反対意見を述べた方です。

集団的自衛権を勝手に拡大解釈して平和憲法を無視しようとする動きを止めましょう。5月3日は憲法記念日です。午前10時30分～は勝山公園芝生広場で北九州九条まつりもあります。ぜひご参加を。僧侶(女性シンガー)のライブもあります。

本当に認知症？デイサービスの現場で(R)

勤務先デイの閉鎖で利用者も他へ異動。新しいデイに前の利用者で「認知症」の方がいました。慣れない環境なのでそわそわ。そして私を見つけると小声で「私のバッグ知らない？知らない人ばかりやけ知つとる人にしか聞けんのよ」と。あれえ～、この利用者さん私をしっかりと覚えてる。本当に認知症なの？？。都合の悪いことだけ聞こえないふりかも。

《アムネスティ》通信(1)



右の図はアムネスティのシンボルマークです。「鉄条網の中の口ウソク」は、囚われ人の良心を表現しています。暴力を用いていないにもかかわらず、自らの信念、人種、宗教、肌の色、出自などを理由に囚われの身になった「良心の囚人」の無条件釈放を求め、各國政府に手紙を書く活動などを行っています。「袴田事件」で死刑判決を受けた袴田巖さんの再審を求める署名運動も世界中で展開され静岡地検に提出してきました。

下関例会に参加されるアムネスティのメンバーは、「共に生きる紙」読者が複数おられ、これまで本紙を支える力にもなっていました。また人権を大切に活動するアムネスティと本紙に共通点もあり、当面「虹の会3p」のように通信枠を提供することになりました。よろしくお願いいたします。(編集部)

「キリスト者・九条の会」北九州での講演

沖縄という鏡を通して見える日本国(6)



日本キリスト教団牧師（沖縄在住）

平 良 修 牧師

(運動の結果、1972年に日米両政府は沖縄県民の声に押され、沖縄返還が成就したんです。)

〈第四次琉球処分〉

しかし、このことを私は第四次琉球処分と呼んでいます。何故なら沖縄が期待したのは完全な平和的復帰です。米軍基地が一切無くなることを前提にした復帰なんです。だって沖縄戦で嫌という程体験しているでしょう。戦争が終わったらすぐ米軍支配ですよ。日本軍支配から米軍支配まで何十年も経験していますから、もううんざりしています。だけど私たちには、本土には憲法9条による平和があると見えるわけです。うらやましいですよ。まぶしいくらいうらやましいですよ。だからそれをを目指して復帰運動をしたんです。だけど日米両政府は、沖縄の米軍基地を丸ごと残すことをしました。承認したんです。

日米政府の相違

つまり沖縄住民の復帰に対する姿勢と願望とは日米政府とまるで違います。アメリカ国内には施政返還に反対する声が結構ありました。特に軍部関係からです。何故なら、日本が独立した1952年には日米安保条約もできていますから、それに基づいて日本国内にも米軍基地があるわけです。しかし沖縄は、日本国に入つていませんでしたから、日米安保条約の適用を受けません。だから米軍の思い通り沖縄では何でもできるんです。そういう自由さを持つた沖縄を返したら、日米安保の中に入ってしまうわけです。だけど住民の声が圧倒的に高まっていき、騒動も起こりました。米軍の車両を80台も焼き払うような、いわゆるコザ騒動といわれ

るような反発も起きました。これ以上押さえていたら、もつと大ことになると。だから多少軍事的制約を受けることになるとしてましたんです。それで日本にある米軍基地は沖縄にそつくり持つてくることを前提にしての復帰です。それどころか、日本には非核三原則が既にありましたから、沖縄にある核兵器は建前とすれば、そのまま持ち運び出来ないわけです。だから核兵器をはずしてまで引き取るわけです。しかしさぎという時、米国から核兵器を再度日本に持ち込むといった時には、日本政府はOKという密約があつたんです。最近になつた明らかになつたでしょう。そういう返還だつたから沖縄住民の希望に全くあわない形で、返還を押し切られた面もあります。

祖国復帰闘争碑 沖縄の北端の辺戸岬、そこに祖国復帰闘争碑、モニュメントがあり、その文言の後半にこう書いてあります。
「一九七二年五月一五日、沖縄の祖国復帰は実現した。しかし県民の平和への願いは叶えられず、
日米国家権力の恣意のまま軍事強化に逆用された。しかし
が故にこの碑は、喜びを表明するためにあるのでもなく、
ましてや勝利を記念するためにあるのでもない。
闘いをふり返り、大衆が信じ合い、自らの力を確め合い、決意を新たにし合うためにこそあり、人類が永遠に生存し、生きとし生けるものが自然の攝理の下に生きながらえ得るために警鐘を鳴らさんとしてある。」
(全文は4ページ)あの復帰を厳しく否定しています。(続く)

編 集 後 記

「共に生きるの購読料はいくら?」と聞かれます。1部発行経費は80円以上かかりますが、「お気持ちを少しでも戴ければ」と伝えています。ところがそう言ってあられない状況となりつつあります。消費税率のアップが全てに重くのしかかってきました。8%は過酷な年貢です。5pの西山進さんの漫画は如実にそれを示しています。政府は次に10%を目論んでいます。国民すべてからかすめ取る税は、弱い立場にいる人ほど苦しめられています。それもじわじわと。弱者を苦しめることで国が豊かになれるはずはないでしょう。国とは国民そのもの。いま悲憤から義憤へ変わるとき。(瀬下)